

寺田池

(てらだいけ)



全景



野鳥観察会

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加古川市

□ため池の特徴

寺田池は、平安時代(893年)に造られた記録の残る古いため池で、その規模は加古川市で最大です。

築造当時は周辺に他の池が無く水量は豊かでしたが、江戸時代になり上流域の新田開発が行われ流入水量が減少したことから、「寺田用水」という疏水を開削したとの記録が残っています。

池には、希少種の水草であるガガブタをはじめ数多くの動植物が生息し、多様な生態系を形成しています。また冬場には野鳥が数多く訪れ、バードウォッチングのメッカとなっています。

環境保全活動などを行う地域住民主体の「寺田池協議会」と、水棲生物や野鳥の観察会を行うボランティア団体「平岡・寺田池を語る会」が両輪となって、地域ぐるみで寺田池を守っていく活動を行っています。

関連情報

寺田池協議会ホームページ

<http://www.geocities.jp/teradaike/>

西光寺池

(さいこうじいけ)



全景



今田特産丹波石の余水吐

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県篠山市

□ため池の特徴

西光寺山の山間にあり、篠山市今田町本荘の農地7haを潤すため池です。

水は美しく澄み、西光寺池の近傍にはサギソウの自生地もあり、その美しい水面と周囲の恵まれた自然が、池の横を通る近畿自然歩道の登山客の目を楽しませてくれます。

平成12年にはため池の改修が行われ、洪水吐には今田特産の丹波石が張られ、堅固さと自然美を引き立てています。

下流の農地では水稻のほか、丹波特産の黒大豆などが栽培されており、西光寺池の用水は地域の農業に欠かせない存在となっています。

冬期には水抜きを行い、特定外来種の繁殖を抑えています。

関連情報

野尻池

(のじりいけ)



全景

ため池の概要

□ため池の所在地
兵庫県篠山市

□ため池の特徴

野尻池は、稲作を中心とする農村にあり、15haの農地の主水源として長年にわたり地域の農業を支えてきました。

周囲の農村風景に溶け込む美しさを持っており、地元ではため池美化の取組みとして、毎年3回程度草刈りを実施しています。

また、池の周囲にアジサイを植栽し、その手入れを集落全体で行って花の美しさによる良好な景観づくりにも取り組んでいます。

また野尻池は、防火用水も兼ね、地域の安全にも寄与していることから、地域住民の参画の下、施設の保全・清掃活動が行われています。

関連情報

弁天池

(べんてんいけ)



全景



水辺の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県篠山市

□ため池の特徴

弁天池は、篠山市小原地区の新田開発にあわせて昭和9年に築造された農業用ため池で、豊かな自然に囲まれて四季それぞれの美しさを持っています。

昭和30年には堤体を赤土で補強し、地区住民が参画して池を守ってきました。

その後、老朽化による水漏れの危険があったため平成18年に堤体が補強され、現在も大切に管理が続けられています。

平成21年4月に藤坂地区で山火事があり、県消防本部のヘリコプターで池の水を汲むなど防火用水池としても活用されました。

関連情報

沢の池

(さわのいけ)



全景



オオアカウキクサの大繁殖



オオアカウキクサの再生

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県丹波市

□ため池の特徴

沢の池は、水稻や小豆などを生産する農地33haに用水を供給しており、地域の農業にとって欠かせない存在となっています。

沢の池には水生生物が数多く生息しており、豊かな自然が保たれ、鴨やサギなどの水鳥も年間を通して観察することができます。

また、オオアカウキクサの繁殖地としても知られています。地元の古河自治会では、オオアカウキクサの再生を目指して取り組みを行っています。

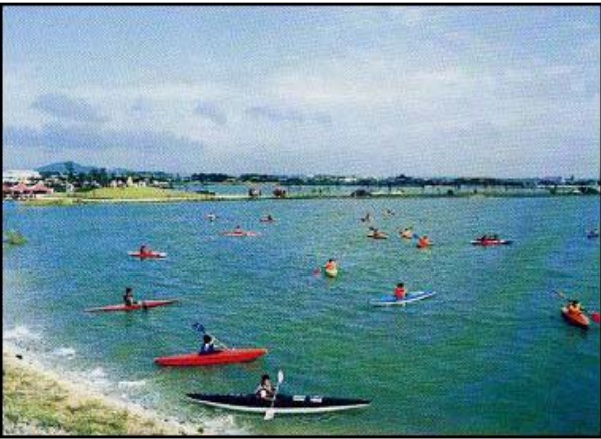
関連情報

加古大池

(かこおおいけ)



全景



カヌーを楽しむ人々



地域の小学校の
マラソン大会

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加古郡稲美町

□ため池の特徴

加古大池は、満水面積494千㎡の県下最大のため池で、加古地域全域約300haの水田を潤しています。

平地に堤防が高くそびえる皿池で、堤頂に登ると眼前に広がる水面49haの光景は、開放感に包まれています。堤を利用した遊歩道や親水護岸・砂浜もあり、ウォーキング散策、水遊び、ウィンドサーフィンにも多くの人々が訪れます。

大池は、江戸時代1661年、新田開発のために築造されたもので、築造当時の水源がこの地域と高低差が少ない草谷川であったため、当時の人々は苦労を重ね約3kmに及ぶ「加古大溝」と呼ばれる用水路を開削し、池に水を引き込みました。

その後、昭和24年に池の大改修が行われ、6つのため池が一つに統合され、現在の池の形になりました。

ため池への用水の流入口付近の葦原はツバメのねぐらとして有名で、夕方に葦原に戻るツバメが乱舞する様は圧巻です。また東南アジアからシベリアに向かう渡り鳥の中継地にもなっています。

関連情報

インターネット検索エンジンにて「加古大池」と検索

天満大池

(てんまおおいけ)



675年に造成された兵庫県最古のため池



親水護岸では多くの人が水とふれあう。



豊作を願う池山車

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加古郡稲美町

□ため池の特徴

天満大池は、兵庫県下で最も古いため池といわれており、原形となった岡大池(蛸草大池)は、白鳳3年(675年)に造られたとの記録が古文書にあります。

現在でも稲美町南西部200haの水田を潤しており、満水面積34.6万m³は県下第2位の広さです。

池の東側には約2.4haの天満大池公園があり、散策・バーベキューなど地域住民の憩いの場となっています。

また、公園に隣接する休耕田では数年来、町花コスモスが栽培され、名所となっています。

毎年10月、池に隣接する天満神社の祭りで五穀豊穰を祝い、「十六人方」と呼ばれる担ぎ手が池にみこしを投げ入れる神事が行われることで有名です。

天満大池は、万葉の歌でよまれた絶滅危惧種アサザの自生地でもあり、天満大池協議会、アサザを育む会を中心に地域住民・有志による保全活動が継続して行われています。

関連情報

インターネット検索エンジンにて「天満大池」と検索

入ヶ池

(にゅうがいけ)



全景



ウォーキングイベントの開催される遊歩道

ため池の概要

□ため池の所在地
兵庫県加古郡稲美町

□ため池の特徴

入ヶ池は、奈良時代714年につくられた人柱伝説のある池で、名前は人柱となった蛇の化身「お入」に由来しています。

堤防が六枚屏風の形状をしているのも「堤防を六枚屏風の形にして人柱をたてよ」との夢のお告げによるといわれています。

この池ができたことにより水田が拓け、村の人々は「お入」に大変感謝し、現在も下流にある川上真楽寺で弔いが続けられています。

現在では地域住民によるため池保全活動、ウォーキング等のイベントも定期的に行われており、伝説を柱にして未来へ伝えていく貴重な活動が受け継がれています。

また、土地改良区、自治会などで「入ヶ池を愛する会」が設立され、ため池を舞台に様々な活動が行われています。

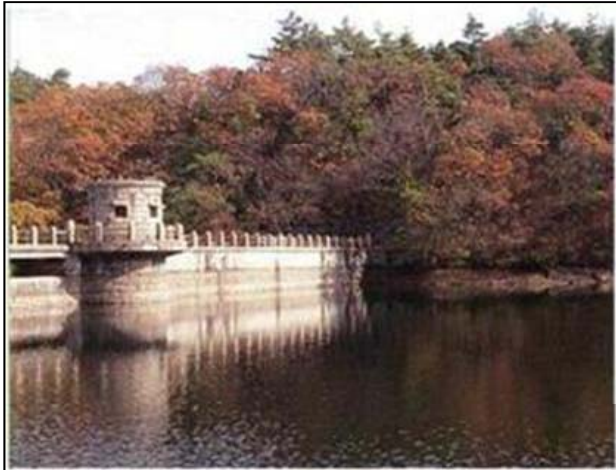
関連情報

山田池

(やまだいけ)



全景



粗石モルタル造りの堤防

ため池の概要

□ため池の所在地
兵庫県神戸市

□ため池の特徴

山田池は、昭和8年、当時まだ珍しかった粗石モルタル積石工法を用いて築造されており、高さ27m、長さ78mにわたる堤体はほとんど人力によって積み上げられています。

周囲の山々に溶け込む優美な石造りの堤防は、近代農業を支えるとともに、農業土木技術の歴史的産業遺産として高い価値があり、神戸市の近代土木遺産に指定されています。

「疏水百選」の淡山疎水によって古来より地域の人々の念願であった印南野台地が開拓されましたが、大正13年に大干ばつに襲われました。

これを契機に山田池が築かれ、水の安定供給による畑作から米作への転換という地域農業発展に大きく貢献してきました。現在も印南野台地約2000haの農地の補助水源として活用されています。

関連情報

福島大池

(ふくしまおおいけ)



遠方からの福島大池と有馬富士



水面に映った逆さ有馬富士と弁財天



有馬富士と弁財天を背後に優雅に泳ぐカモ

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県三田市

□ため池の特徴

福島大池は、奈良時代(731年)、僧行基が谷川をせき止めて造ったといわれており、当時、下流台地の新田開発を実現させ、現在も地域にとって不可欠な農業用水となっています。

兵庫県立有馬富士公園内にあり、日頃から多くの人々が訪れ景観や散策を楽しんでいます。北には有馬富士がそびえ、池の南側には弁財天が祭られています。

冬のヒドリガモ、マガモなど、季節ごとに様々な野鳥が飛来しバードウォッチャーも数多く訪れます。

水面に映った有馬富士(逆さ富士で有名)、弁財天及び渡り鳥を合わせた景観は世界に誇れる美しさを持っています。

4年毎のかいぼりでは、ため池の管理と皆が楽しむ行事を兼ねて、フナやヘラ鮒の捕獲が行われています。

関連情報

三田市ホームページ「行基さんの杖あと」

[http://www3.city.sanda.hyogo.jp/cgi-bin/odb-](http://www3.city.sanda.hyogo.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::2786)

[get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::2786](http://www3.city.sanda.hyogo.jp/cgi-bin/odb-get.exe?WIT_template=AC020000&WIT_oid=icityv2::Contents::2786)

母子大池

(もうしおおいけ)



全景



都会より訪れる人が多い

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県三田市

□ため池の特徴

母子大池は、汚染源の全くない標高400mにあるため池で、抜群の透明度で訪れる人が持ち帰るほどきれいな水を湛えています。

周辺は全く開発されておらず、カワセミが見られ、自然環境が保たれた秘境となっています。また、池の進入路3.3kmも散策路と位置づけ、荒れやすい箇所は簡易舗装だけに留めています。

大池は、大正末期から昭和初期の大不況時、公共事業として築造され(昭和8年完成)、下流の末野地区等の開田に貢献してきました。現在も水田70haを潤しています。

築造に当たっては、明治4年に三田藩九鬼隆輝が管領地の山野を開発するために造った母子カチャダニ池や水路が活用されています。

毎年4月には、大池堤に安置する水神社で厳粛に祭礼が行われています。また、三年毎の池の水抜き時には、子供たちを招待して魚の掴み取りが行われます。

関連情報

いなみ野ため池ミュージアム

(明石、加古川、高砂、稲美、播磨ため池群)



「近代化産業遺産」に登録された
いなみ野ため池ミュージアム



左上: 洗い場の残るため池
左下: オニバス
右上: ながむろジュンサイ祭り
右下: 樋抜き儀

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県(明石市、加古川市、高砂市、加古郡稲美町、播磨町)

□ため池の特徴

いなみ野ため池ミュージアムは、東播磨地域のため池群の池1つ1つを展示物、全体を博物館と見立てたもので、地域住民、自然保護団体、学識者等からなる「ため池協議会」によって、保全活動やため池を中心とした地域づくりが非常に活発に行われています。

東播磨は小雨で地形的に河川取水が困難なため、非かんがい期に上流で取水した水を、数多くのため池を造って貯水し、池を相互に水路で結んで反復利用する効率的な水利システムが構築されました。

ため池群には兵庫県下最古(675年)の池や最大の池などが含まれており、その総数は600に及び日本有数のため池密度を誇ります。

堤防や池をつなぐ水路網、分水施設には水を無駄にしない工夫の跡が残され、文化財として評価も高く、経済産業省「近代化産業遺産」、文化庁「文化的景観180ヶ所」になっています。

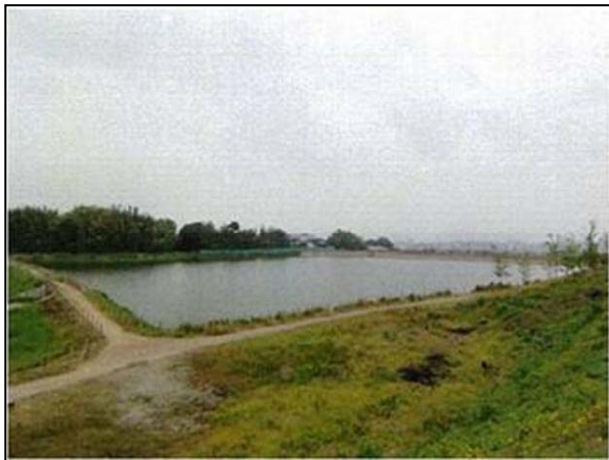
また、ため池群は内陸部の貴重な水辺環境を形成しており、カモやコハクチョウが飛来し、ダルマガエル、ガガブタ、車軸藻、オニバスなどのレッドデータブック希少種も見られます。

関連情報

インターネット検索エンジンにて「いなみ野ため池ミュージアム」と検索

北池（浄谷北池）

（きたいけ（きよたにきたいけ））



全景



夕日に染まる北池

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県小野市

□ため池の特徴

浄谷北池は800年以上前の鎌倉時代に造られたため池です。国宝浄土寺に隣接し、夕日に輝く美しい西空と宙を舞っているかのような阿弥陀如来及び両脇自立像を見ることができます。

三尊像が赤々と輝く光の現象は、夕日だけでなく北池に反射した光も取り込んでいるためであると言われており、ため池の自然と歴史遺産がマッチした景観を演出し、多くの観光客が訪れています。

また、ウキシバ（イネ科）やヒシ（ヒシ科）等の植物、ヘラブナなどの魚も見られ、カモなどの鳥類も飛来する自然豊かなため池です。

ため池を中心としたイベントや堤体を利用したイルミネーションが設置され、地域づくりの中心的存在となっています。

毎年11月には地域ぐるみで「ため池クリーンキャンペーン」が行われています。

関連情報

男池（鴨池）・女池

（おいけ（かもいけ）・めいけ）



中央、男池 左、女池



男池に飛来している鴨

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県小野市

□ため池の特徴

男池（鴨池）は貯水量が788.5千m³、女池は貯水量は95千m³であり、両池あわせて100haを超える水田を潤しています。

両池は播磨中部丘陵県立自然公園の中心に位置し、冬季になると、男池はシベリア方面からの鴨の飛来地、女池はコハクチョウの飛来地として知られており、多くのカメラマンが撮影に訪れます。

男池を中心に野鳥観察小屋、グラウンドなどが整備され、また、小野アルプスのハイキングコースにもなっており、多くの方が自然を感じて散策しています。

関連情報

牧野大池

(まきのおおいけ)



全景



水辺の様子

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県多可郡多可町

□ため池の特徴

牧野大池の堤体は、堤長200m、堤高16.5mの中心コア型アースダムで、背景のトンガリ山がエメラルド色の水面に浮かび上がる様子は絶景です。

大正2年、痩せ地で水不足に悩む農家のために計画がたてられ、昭和8年に完成しました。完成に至るまで幾度か財政危機に直面しましたが、延べ5万4千人余りがつるはし、すどり、もっこ、トロッコなどの道具を使い、殆ど手作業で造りあげました。

先人の苦労を思い偲び、またかつて鉱山がさかえた地域の歴史に思いを馳せようと、雨乞いの龍神伝説をもとに『竜神太鼓』が誕生しました。

昭和57年7月、同池キャンプ場開きで初めて披露され、以降、地元有志「ふるさと研究会」や地元中学校では、昭和63年からクラブ活動に取り入れ、今では学校の選択教科(伝統芸能)として受け継がれています。

また、毎年4月の第2日曜日は、村役人・宮当番等約40人が集まり、用水確保に取り組んできた先人達の功績や水の恵みに感謝する大池まつり(祈願祭)を開催しています。

関連情報

新宮池

(しんぐういけ)



全景



池のジャコ(雑魚)捕り(かいぼり)

ため池の概要

□ため池の所在地
兵庫県多可郡多可町

□ため池の特徴

新宮池は12haの田畑を潤すため池で、エビ、コイ、アマゴなど多数の生き物が生息していることから、昔から地域の人はこちらの生き物を恵みとして生活していました。

10年程前、ため池を地域の資源として活用し、併せて池の維持管理を行うため、地元奥中集落(むらづくり協議会)が『池のジャコ捕り』(かいぼり)を始めました。

以後毎年、稲刈りが終わる10月中旬に開催され、1ヵ月ほど前から水抜きを行い底さらえをすることで、池底の泥を天日干しし、腐敗を防いでいます。

イベント当日は、子供のくるぶし程度の高さまで水が抜かれ、地域の子供達が泥まみれになりながら網を手に雑魚やエビをすくい上げます。そして、その場で炭火焼きやかき揚げが振る舞われ、集落内外の人々が交流を深めています。

関連情報

平池

(ひらいけ)



地域住民の憩いの場になっている。



多くの種類のハスが栽培されている。



大賀ハス

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加東市

□ため池の特徴

平池は、「古代ハス」とも「2000年ハス」とも呼ばれる大賀ハスが栽培されている貯水量7.6万 m^3 のため池で、加東市の約13haの水田を潤しています。

大賀ハスは、平池周辺が公園として昭和50年代後半に整備された際、新しい観光スポットとするため、15粒のタネを譲り受けて発芽させ、今では大輪の花を数多く咲かせるまでになっています。

また、大賀ハス以外にも120種類以上の様々なハスが栽培され6月下旬から7月上旬にかけて、多くの方が見学に訪れます。

関連情報

瀬戸池

(せといけ)



全景



自生のオニバス

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県姫路市

□ため池の特徴

瀬戸池は、絶滅危惧種である「オニバス」が自生している姫路市では数少ないため池で、貯水量1万2千 m^3 をもち姫路市の水田約8haを潤しています。

平成12年度に完了した改修工事の際には、地域住民が自主的に参加して水生植物の種子を移植し保存するなど、地域全体で池の自然環境の維持に努めています。

改修に併せて散策路や休憩施設が整備され、付近住民や近くにある学校の生徒児童の憩いの場所となっています。

関連情報

西光寺野台地のため池群

(さいこうじのだいちのためいけぐん)



長池の全景

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県姫路市、神崎郡福崎町

□ため池の特徴

西光寺野台地のため池群は、主な4池(桜上池、桜下池、長池、奥池)で200万m³を超える貯水量を持ち、300ha以上の耕地を潤しています。

西光寺野の農村風景に溶け込んでいるこれらのため池は地域に潤いを与え、散策路やジョギングコースにもなっています。

西光寺野は、姫路市から福崎町に跨る400haの馬の背状の台地で、用水が不足し、江戸期より何度もため池が造られてきましたが、決壊により新田が土砂に埋まるなどの被害が繰り返し発生してきました。

このため、上流の岡部川から非かんがい期に取水し、主なため池6ヶ所を整備してかんがいを行う大事業が計画され、苦労の末大正4年に完成しました。特に最大の長池の築造は、旧長池と旧左衛門池を一つにするもので、困難を極めた一大事業でした。

また、この地には明治期に生野銀山と港を結ぶ「銀の馬車道」が開通し、台地開拓の気運を一気に高めたといわれています。

20年度には、ため池群や疎水路が近代化産業遺産群の認定を受け、ため池や「いぶし瓦」工場など地区内の史跡を巡る「銀の馬車道ため池ウォーキング」が開催されて好評を博しています。

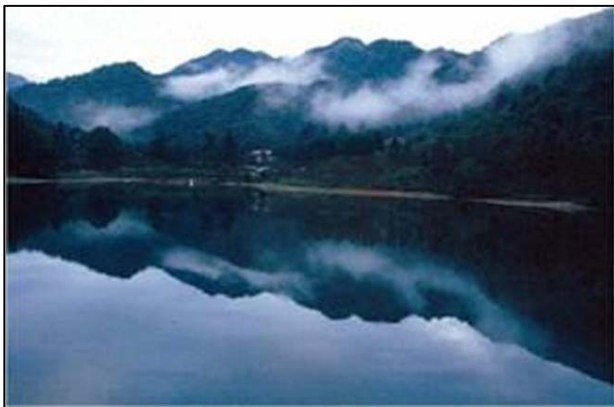
関連情報

田口奥池

(たぐちおくいけ)



三つ葉ツツジと田口奥池



湛える水が清らかで、水面が静かなときは鏡のように景色が映る

ため池の概要

□ため池の所在地
兵庫県神崎郡福崎町

□ため池の特徴
田口奥池は、貯水量約10万 m^3 を有し今も約10haの水田を潤すため池で、豊かな深い緑に囲まれており、近畿観光百景、県下八景、ひょうご森林浴場五十選に選定され、清らかな水を湛え6月には蛍が乱舞します。

周辺の森は近年整備され、「なぐさの森」森林公園となっています。すばらしい自然と人間の営みが共存し、他に類を見ない四季折々の風景を生み出しています。

池の建立碑には「度々干上がる七種川に不安を覚えた地主たちが相談し、新たにため池を築造することになった」とあり、渇水期には、池内から当時の道路やお地蔵様の跡が表れ、ため池造成にかかる先人の切実な思いと営みを感じ取ることができます。

関連情報

有年大池

(うねおおいけ)



堤体から上流側を望む



有年地区近隣は自然景観が豊かである。

木造の
斜樋管理建屋



ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県赤穂市

□ため池の特徴

有年大池は有効貯水量28万 m^3 、水田約35haを潤すため池で、周辺部は、溪流の水辺と森林の中で多くの小鳥や植物に触れあうことができる空間となっており、地域の人々に安らぎと潤いを与えています。

また、安土桃山(天正)時代の風情を残し、優れた景観を呈していることから、平成20年には映画「BALLAD 名もなき恋のうた」のロケ地に選定され話題を集めました。

有年大池は、もともと戦中戦後の混乱期に、国の食糧自給強化計画に基づき、農地開発営団事業によって建設(S16～S28)され、人力主体で工事が行われ、終戦後には囚人も動員して実施されました。

池には、国内で最も古い側溝式洪水吐(洪水を安全に流すため、ため池の横に設けられた排水施設)が設置されています。

関連情報

大成池

(おおなりいけ)



全景(堤体に向かって)



石碑と親水護岸



カヌー体験教室

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県たつの市

□ため池の特徴

大成池は標高410mにあり、山上の三大ため池(大成池・新池・亀の池)のひとつで、三段溝の堅固な石垣で築かれており、かんがい面積は115haに及んでいます。

平成10年度には、堰堤や管理道路のほか、水に触れ合えるよう親水護岸が整備され、豊かな自然環境の中で野外レクリエーションを楽しむことができ、また動植物や地質など自然を学べる場となっています。

サマーフェスティバルinレイク大成として、「自然と親しむ」をテーマに子供たちの自然体験教室(カヌー体験教室と清掃)を開催して、ため池の役割の理解を深めるとともに、市内小中学生と地域住民との交流を図っています。

関連情報

大町池

(おおまちいけ)



ため池及び堤体の全景(芝桜にて池名、堤体に鯉のぼりが泳ぐ)



大町公園より堤体を望む。噴水(池の水利用)で憩う。

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県朝来市

□ため池の特徴

大町池は貯水量14.3万 m^3 を有し、かんがい面積90haにも及ぶ重要なため池です。周囲の山々や田園地帯の風景に溶け込み、池を中心とする大町公園は地元住民の憩いの場として広く利用されています。

平成7年度、ため池法面に住民が芝桜の植栽に取り組んだのをはじめ、近くの山々で採った藤の苗木を育てて藤棚を整備し、直径5mもある水車も住民自ら作りあげました。

また、地域の子どものアイデアを活用し、噴水広場の整備を行うなど、大人から子どもまでが地域づくりに参画しています。

山陰随一という藤まつり時には、京阪神から2週間で約6万5千人の来客もあり、都市住民との交流も行われています。

関連情報

永郷池

(ながさといけ)



全景



ため池周辺の風景

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県丹波市

□ため池の特徴

永郷池は、地域の水田約50haを潤すため昭和25年に築造されました。

大正の中頃より、長尾の地にため池を築造することが急務とされ、「長尾新池築造記録」には「大正13年の如きは殆ど空前と云はるる大旱魃にて、収穫皆無」と築造に至った理由が記録されています。築造時は区民総出で作業を行い、就労延べ人数5万人以上、総工費500万円余り(当時)、期間10年を要したとされています。

池は丹波高原アルペン登山ルート、起点付近に位置しており、多くの登山客にも親しまれています。

平成18年には地元の小学校と周辺住民が一緒になってマツバギクの植え込み作業を実施し、その様子は新聞でも報道されました。

関連情報

椎谷池

(しいたにいけ)



緑に囲まれ、管理の行き届いたため池



集落の奥に位置する山に囲まれた静閑な谷地



巣塔にとまったコウノトリ



コウノトリの巣塔の設置

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県豊岡市

□ため池の特徴

椎谷池は、特別天然記念物「コウノトリ」が飛来するため池で、近年珍しくなった日本の在来種が多く生息する豊かな自然環境が守られています。

池は、明治半ば新田開発のために築造され、地域の貴重な農業用水源として利用されてきました。

現在、豊岡市は「コウノトリと共生する環境創造型農業」の推進に力を入れており、餌場確保のため、冬季も田んぼに水をためるなど新たな取り組みが始まっています。

地域でも池を「地域の財産」と捉え、ため池管理者と地域の非農家等で構成する「椎谷ため池たちばな会」を設立し、「みんなのこころを結び・つないでいく憩いの空間づくり」を目標に保全活動を行っています。

また、地域住民による憩いの公園づくり（サクラの植樹やコウノトリ巣塔の設置）、小学校による環境学習（ホタルの放流）など地域活性化の取組も行われています。

関連情報

井根口池

(いねぐちいけ)



上流側より見た堤体・洪水吐



制波工には工事現場で出た自然石を埋め込んでいる。

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県篠山市

□ため池の特徴

井根口池のある今田町上小野原地区は加古川水系の最上流部に位置する農村で、地形勾配は急峻で集水面積も狭いため常に干ばつに見舞われてきました。

ため池の完成により当地域の農業は発展し、明治の初めには水田11町・畑7町8反であったものが水田28町6反、畑9反となりました。

現在では、水稻の他、丹波特産の黒大豆が栽培され、当地域の農業に無くてはならない存在となっています。

平成18年に改修が行われ、工事で出た大量の自然石を石張りに流用したことにより美観的にも優れた池に生まれ変わりました。

関連情報

大城池

(だいじょういけ)



全景



余水吐から流れ落ちる水

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県洲本市

□ため池の特徴

大城池は125haの水田を潤すため池で、周囲の山々の風景と溶け込んだ非常に秀逸な景観をもっています。水を満々と湛えた姿は非常に雄大で、特に、岩盤を利用した余水吐から流れ落ちる水は“幻の滝”ともいわれるほどです。

この地域は、元来高燥で水利の便が悪く大半を井戸水に頼っており、1日四百回もの水のくみあげが必要で、さらに干天が続けば井戸水が枯渇するという状況でした。

明治45年にため池の構想が作られた後、先人たちの苦勞の末、昭和3年に貯水量約100万m³の土堰堤の池として築られました。

大城池造成により地域の農業は大きく発展し、その築造に貢献した山口恒雄翁を感謝するお祭りが毎年開催されています。

関連情報

上田池

(こうだいけ)



石切布積の堤体と石造の高欄



下流から見た堤体
直線重力式粗石モルタル工法

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県南あわじ市

□ため池の特徴

上田池は、昭和7年(1932年)頃築造され、国内初の直線重力式粗石モルタル工法による堰堤を持つため池です。

堰堤は布石積み豊かな自然に溶け込む美しさと、農業土木技術の歴史的価値を併せ持ち、「兵庫の近代文化遺産」にも指定されています。下流側から見た堰堤は、中央に洪水吐越流部を配し壮大で美しく、遠目からも目を引きます。

上田池は山あいの最上流部に位置し、桜の隠れた名所でもあり、また日本古来からの植物が保全され、鴨などの水鳥の飛来地になっています。

上田池は538haをかんがいする大規模なため池で、兵庫県内で最も農業が盛んな三原平野の水源として重要な役割を担っています。この地域では米、たまねぎ、レタスなど、三毛作が行われ、特に淡路タマネギはブランド品として確立されています。

関連情報

長倉池

(ながくらいけ)



全景(手前側に散在する玉丘古墳群)



朝焼けの長倉池(日の出とコハクチョウ)



北帰行に備え集合したコハクチョウ



晩夏から初秋のミズトラノオの群生

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県加西市

□ため池の特徴

長倉池は、周辺に農業用水を供給する皿状のため池で、隣接する牧草地、玉丘史跡公園や周囲の山林と一体となり、特に朝方牧草地から昇る朝日や西の山に夕日が沈む時の景観は他に類を見ないすばらしさです。

加西市は、隣接する小野市とともにコハクチョウの越冬南限の地であり、毎年稲作終了後の池干しが終わり、水が溜まり始めると付近の池で越冬していたコハクチョウが飛来し、北帰行までの集結地となります。

また、長倉池は近畿地方におけるミズトラノオの代表的な群生地となっており、池周辺はカスミサンショウオ、ニホンアカガエル、ヒメナエ、ゴマクサなどの貴重な動植物が生息しており、農業高校等の環境研究活動の拠点のひとつとして利用されています。

関連情報

昆陽池

(こやいけ)



全景



野鳥の宝庫であり、渡り鳥の立ち寄り場となっている。

ため池の概要

□ため池の所在地

兵庫県伊丹市

□ため池の特徴

昆陽池は、奈良時代(731年)に築造された歴史あるため池で、従来からカモ類の飛来地となっています。

昭和42年から市が主体となって公園として整備を行い、現在は、市民の憩いの場として、市民からの寄付も受けつつ、樹木や水生植物の植栽や野鳥の給餌池設置、市民参加によるビオトープ整備などの自然保護活動が展開されています。

また、平成2年に伊丹市昆虫館も開園し、昆陽池には、市内外から多くの人たちが訪れています。

関連情報